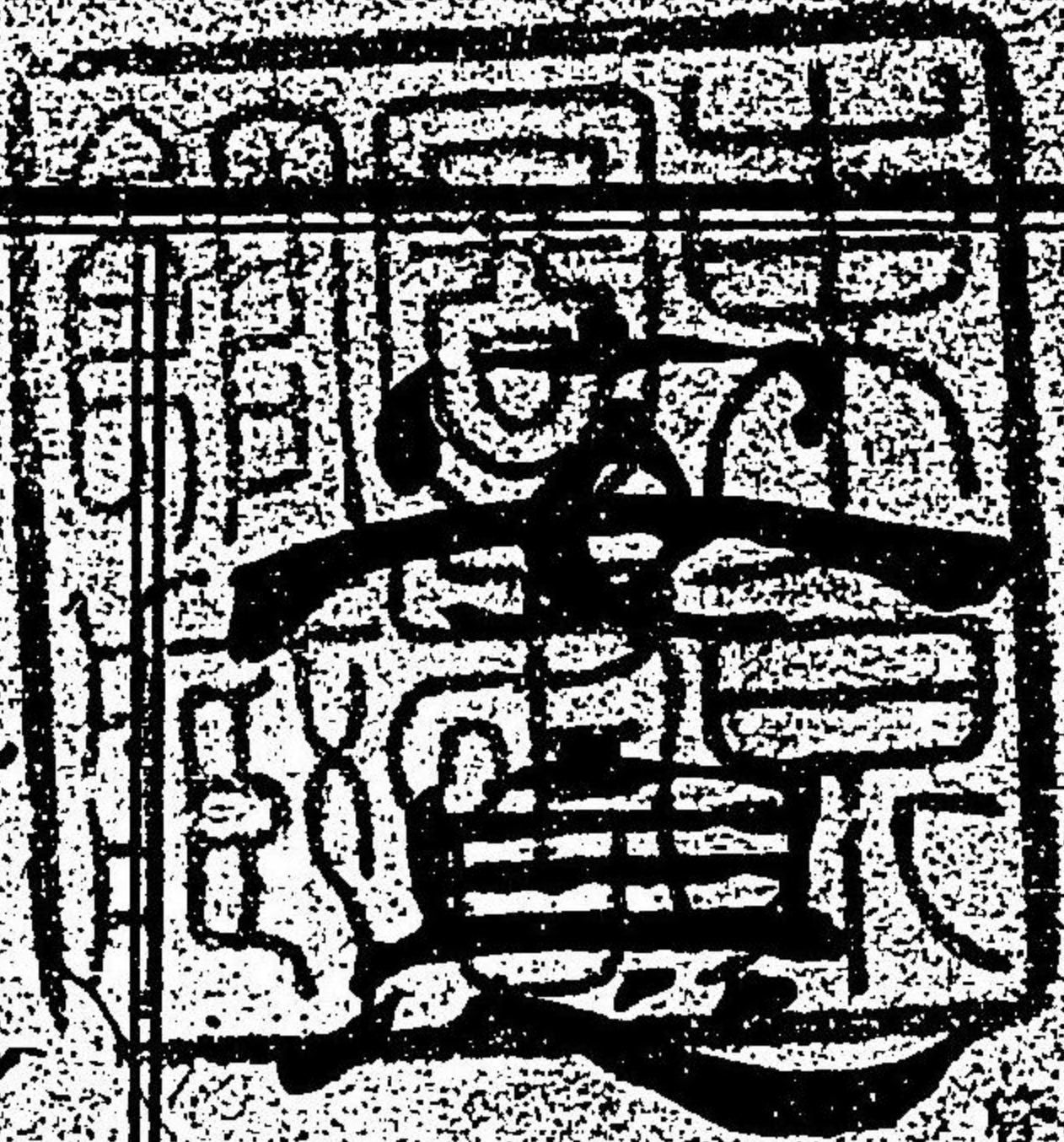


特10
714

本
間
重
慶
撰



學
校
讀
本
卷一

大
阪

福
音
社
發
行





自序

抑も安息日學校の起原を尋るゝ、遯乎遠き昔に在りて、
彼猶太人が其會堂に於て、安息日と舊約書を其會衆に
讀聞せたるを以て起原とするものゝ如し、然れども現
今の体裁をかすゝ至りしは、僅かゝ前世紀の事にして、
其創設者は英人ロバート・レークス氏なりとす。

氏ハ千七百三十五年九月十四日を以て、英國グロセス
トル府に生る、人とかり慈善の心厚く、夙に貧苦無告の
人を救恤せり、此府ハ惡漢無賴四方より群集し、曾て囚
徒の數大に増加し、鍛冶師ハ晝夜を別たさ、鑛械を作り、

或ハ殖物灣ギョクブクワンニ重罪囚を送るニ、一航海數千を以て數ふ
 るニ至れり、當時之を目撃せる博愛ある氏の心腸ハ實
 ニ裂ある、如く、以爲らく是れ全く幼時教育を受るの
 機なく良心爲ニ蒙く終ニ此刑辟に觸るゝのみと、是よ
 り心と幼童教育ニ委ね、千七百八十年四月を以て、遂ニ
 安息日學校を開くに至れり、
 初め先づ二三教師を聘し、幼童を集め來りて聖書を教
 授せり、校則ハ頗る簡單にして、必老顔を洗ひ、手を洗ひ、
 髪を櫛り來れよとの三事項のみかりしが、漸々好結果
 と顯ハしければ、暫時ニして遠近相傳へ到る處此設あり

るニ至れり、

蓋し安息日學校ハ、信徒の信仰を培養し、未信者を誘導
 啓發する者なれば、傳道上必須の機關たり、今や吾國の
 基督教ハ、日進月歩、偉大の功績を奏せんとす、此際當局
 者豈に深く此ニ考ふる所なくして可あらんや、而して
 今日之の教科書たる、たゞ一卷の聖書あり、是固より至寶
 至重の書、須臾も欠く可らずと雖も、一意之れを幼童の
 頭腦ニまで注入せんとする時ハ、徒らに倦厭の念を生
 ぜしめ、從來また之を繙くを欲せざるニ至る、然らば先
 づ間接ニ種々の談話に依り、漸々之を導くとを爲ざる

を得ず、然るも吾國未だ此等の書も乏し、著者常々之を遺憾とせり、今や幸よして、ヂェー、チー、ギョリキ君、一貫楠瀬君の補助により、本書を編纂して世に公よするを得たり、幼童教育者の一助とあらば幸ひ甚し、勿論本書ハ人心を歡喜せしむる佳話妙文たるを期せど、著者ハたゞ彼の野々呼はりしヨハチを以て自任するのみ、若しこれ完全の良書本書も後れ來るとあらば著者の喜び以て満るとを得べし、

明治二十四年一月

本間重慶識す

一本書材料の、著者が曾て諸書より採萃して、安息日學校に教授せし者、或ハニユートン氏の「バイブル、オーニング」外國諸新聞「聖書人名」猶太地名書「七一雜報」福音新報」等より取れり、その七一、福音兩紙ハ掲載せしものハ、主もに著者の著譯ハ係る、

一本書第一卷の圖書よよつて教へ、第二第三第四第五卷の生徒の年齢學力に應じて應用すべき者なり、毎章の終リハ單語を掲げたるハ、教員が生徒に問題を發する參考として備へたるものあり、

一本書の目的ハ、幼年の時より信仰心を發せしむる必要ある談話を教へ、又ハ地名人名等を習熟せしめて、後來聖書を讀むハ當り、理解ハ便ならしめんとせるハ在るなり、

本書の専ら圖畫を以て教ゆる
と旨とし其圖畫の幼少の頃よ
り其史上の事實なりしもの
之を記臆し其教訓にかゝるも
のい之を其心に得又善きい之
と敬慕し其惡きい之を嫌忌す

ト	イ	ト	イ	ト	イ	ト	イ
子	カ	チ	口	子	カ	チ	口
オ	ナ	ヨ	リ	オ	ナ	ヨ	リ
ク	ラ	タ	ヌ	ク	ラ	タ	ヌ
ム	レ	ル	ホ	ム	レ	ル	ホ
ウ	ツ	ヲ	ヘ	ウ	ツ	ヲ	ヘ

の念慮の種子を何時となく
 植込を以て本意とす
 圖畫中の文句に○○のあゝい
 成るべく生徒として適當の文
 字を補入せしむべし



工	サ	知	事	ト	イ
ヒ	キ	地	力	チ	口
モ	ユ	コ	オ	ナ	ヨ
セ	メ	エ	ク	ラ	タ
ス	ミ	テ	ヤ	ム	レ
ン	シ	ア	マ	ウ	ソ
					ヲ
					ヘ

一 イチ



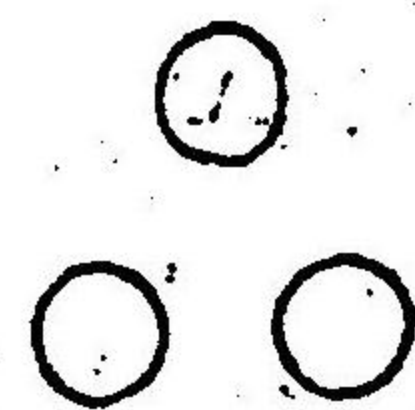
一ツ イツ

二 ニ



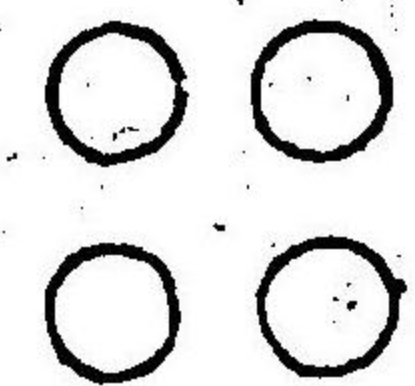
二ツ イツ

三 サン



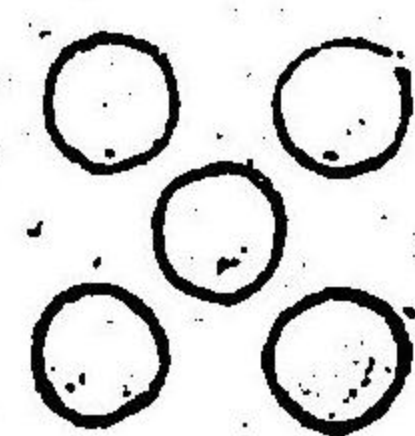
三ツ イツ

四 シ



四ツ イツ

五 ゴ



五ツ イツ

い せ ち づ け さ 急

ろ ち か ね の ふ き ひ

は より な れ じ ゆ も

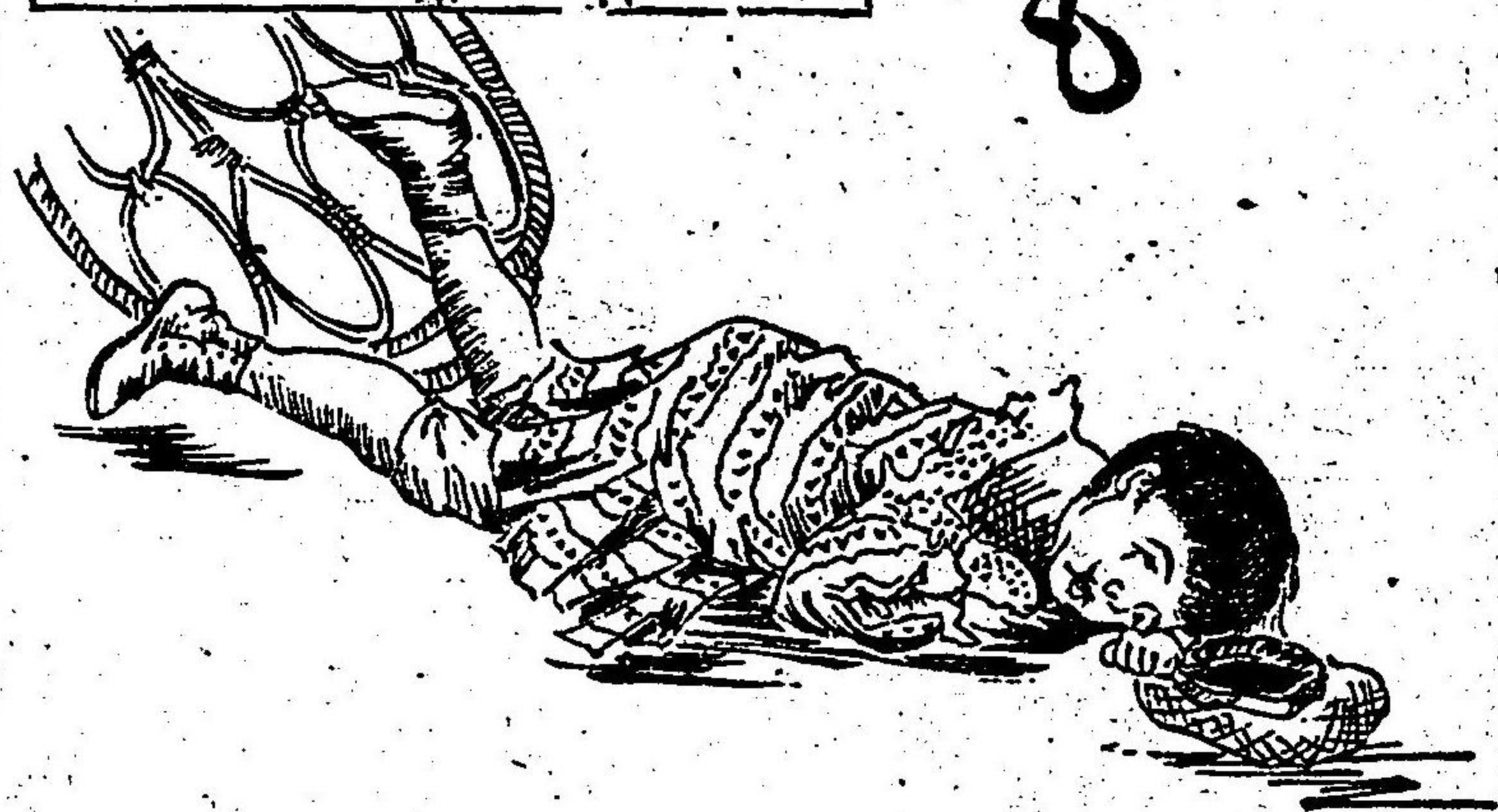
に ぬ た ら く け め せ

ほ る れ ち や へ み す

へ を う ま あ し ん



いたづら
こども



かあ
い

ら
い

か
ほ

子
コ



バ	ダ	ザ	ガ	濁音
ビ	ヂ	ジ	ギ	
ブ	ヅ	ズ	グ	
ベ	デ	ゼ	ゲ	
ボ	ド	ゾ	ゴ	



くさは
かは
はな
はな
おつ



○ ○
ぶつへム
うまれ
たもふ



にん
ぜつ





しんせつな
 ほんま
 かあさん
 ー
 こゝろ



トキハ
 ワレラ
 マタズ

次清音

パ

ピ

プ

ペ

ポ

數字

一

二

三

四

五

六

七

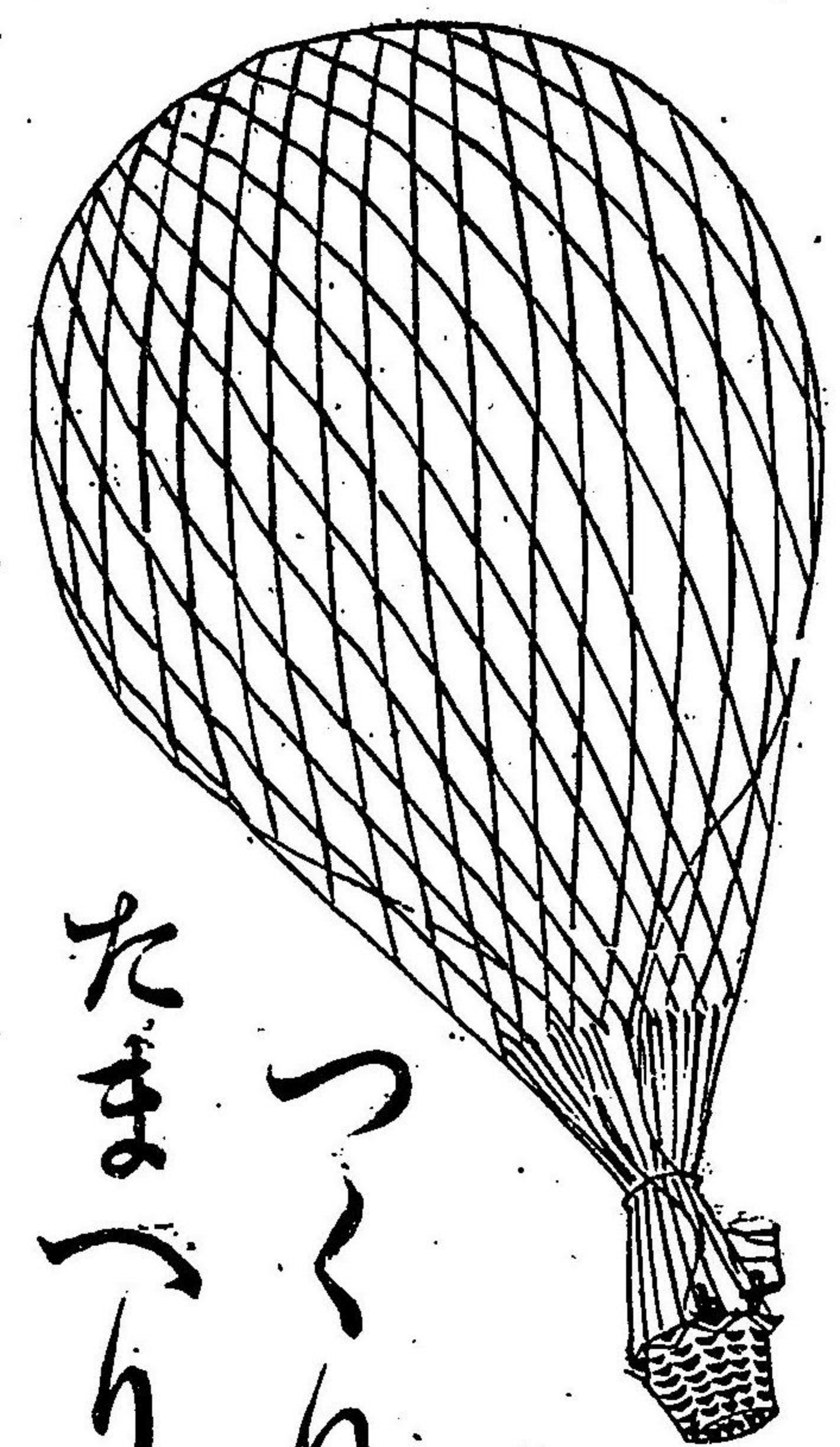
八

九

十

〇〇は

せういそ

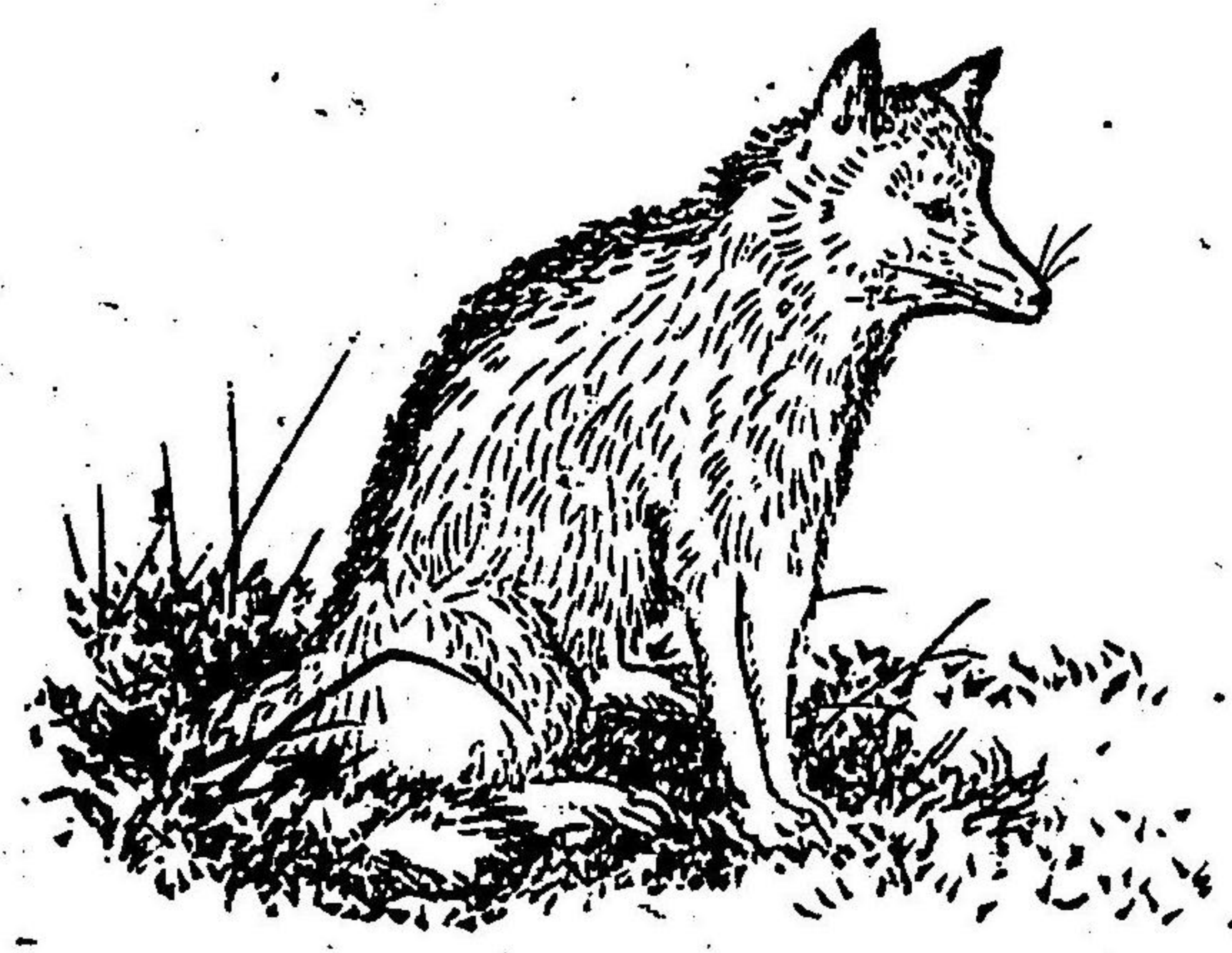
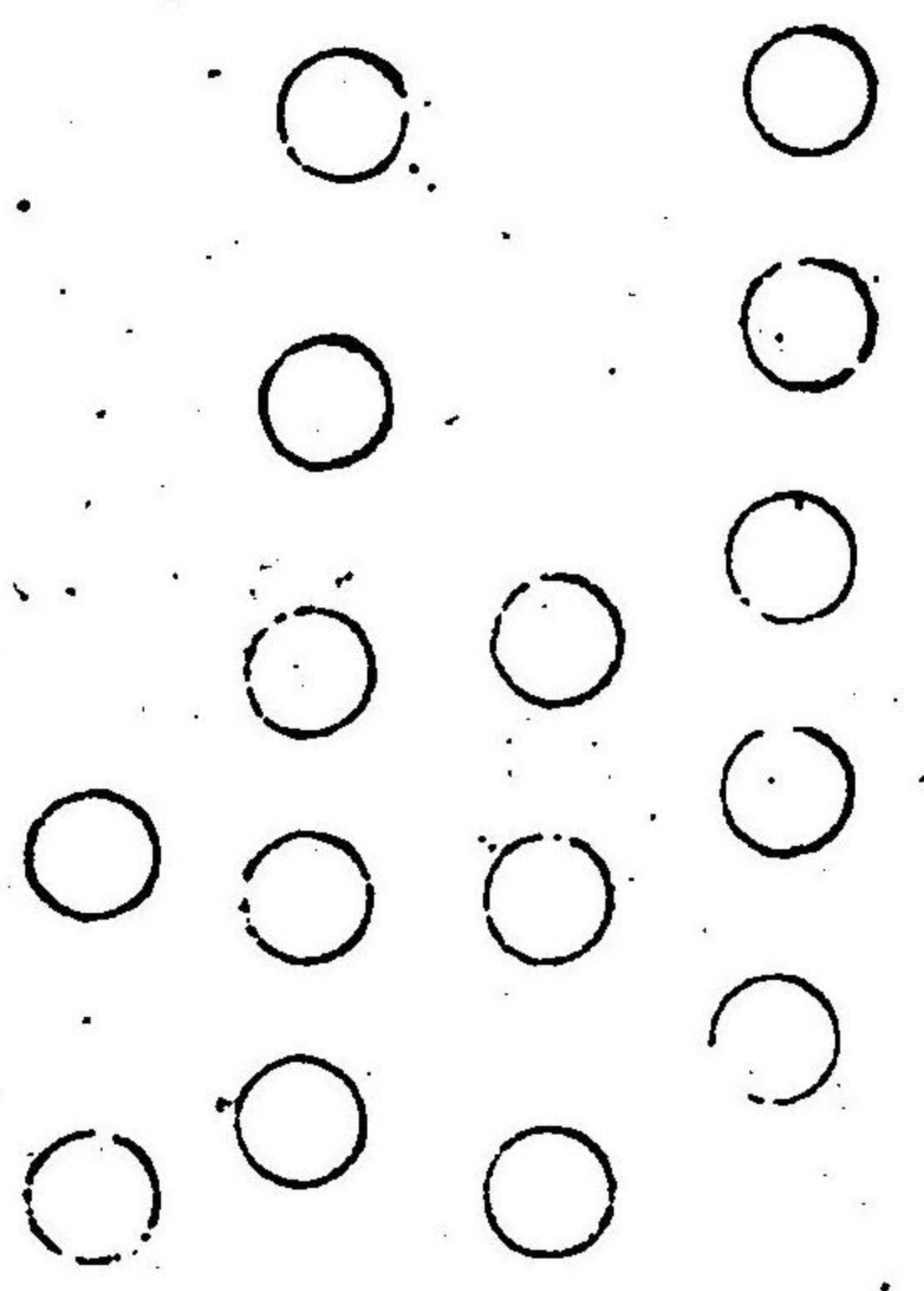


つくり
たまひり

まつぬい

あなあり

おれど



あいは

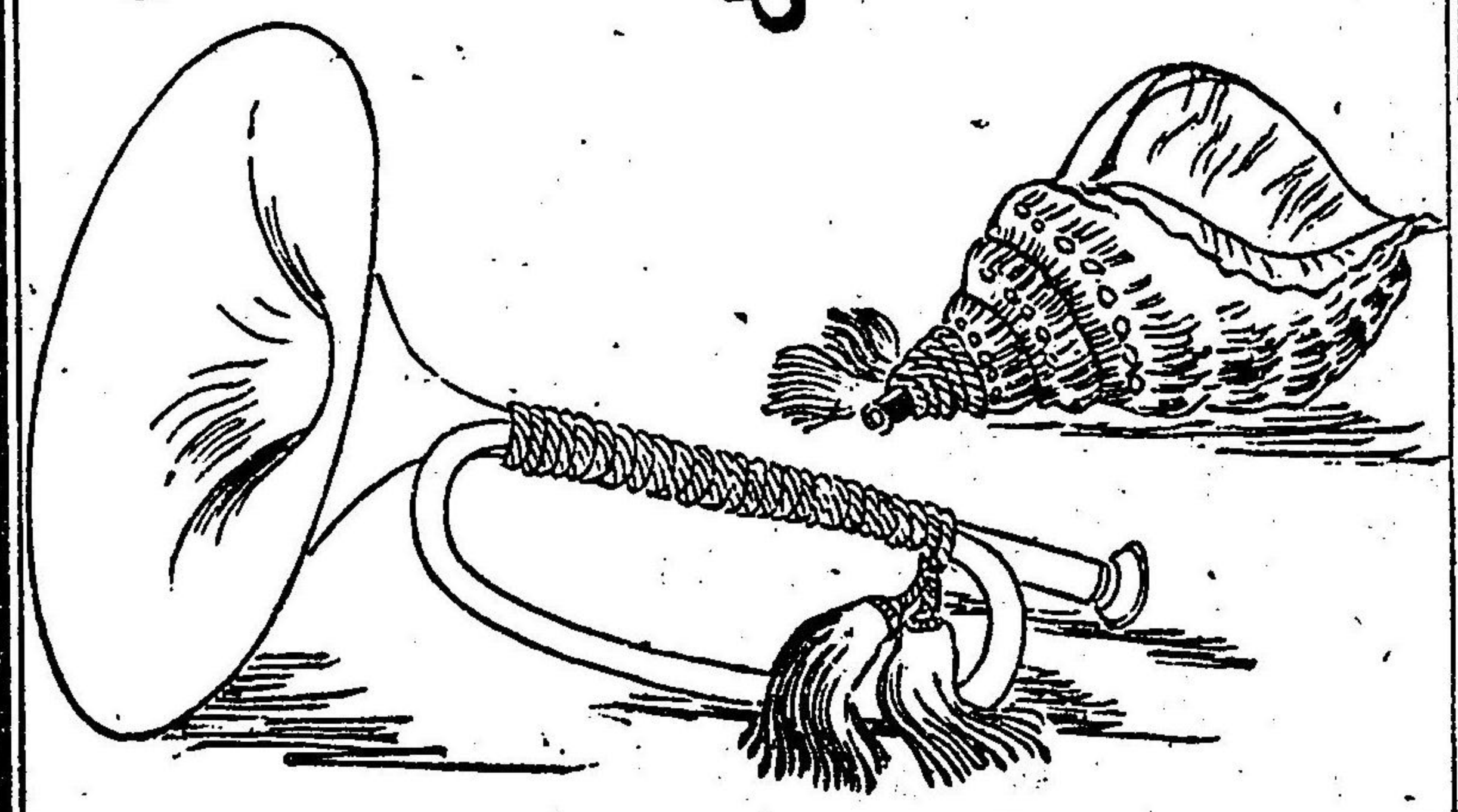
ラツパ

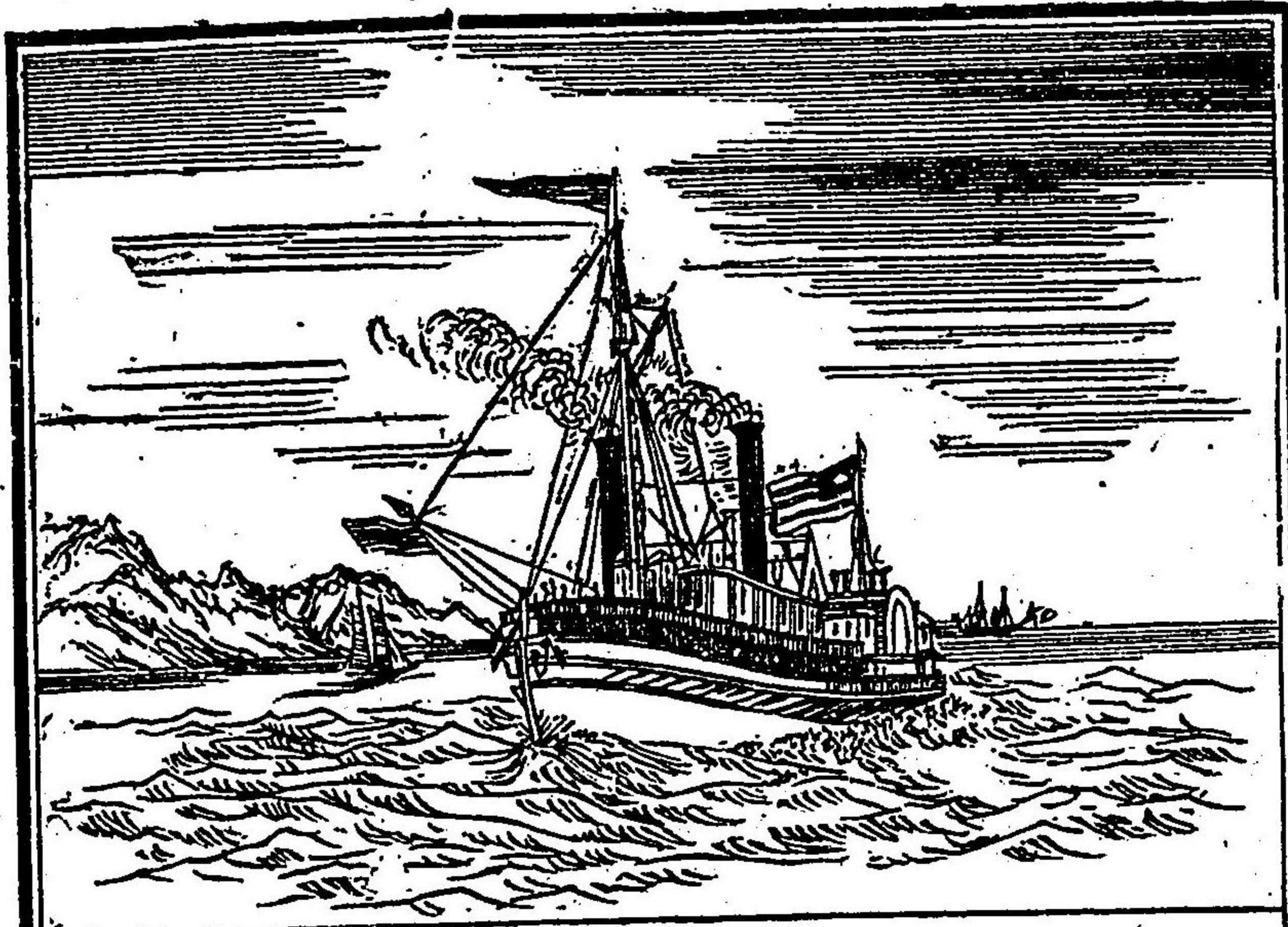
よりあ

にんぱう

こ

あこゆる





かみおまこ
 ○○もれふも
 ○○○もの
 こも
 あめを
 ふらせ
 なさり
 ます



かみ
 おほうみ
 ○○○
 なされ
 ます



みの

○ ○ ○ ○

○ なり

○ ○ ○ ○

ふかれ



おのおも

たぬん

あんそく

ぶくかう

に

あか

あふ





い
に
て
テ
タ

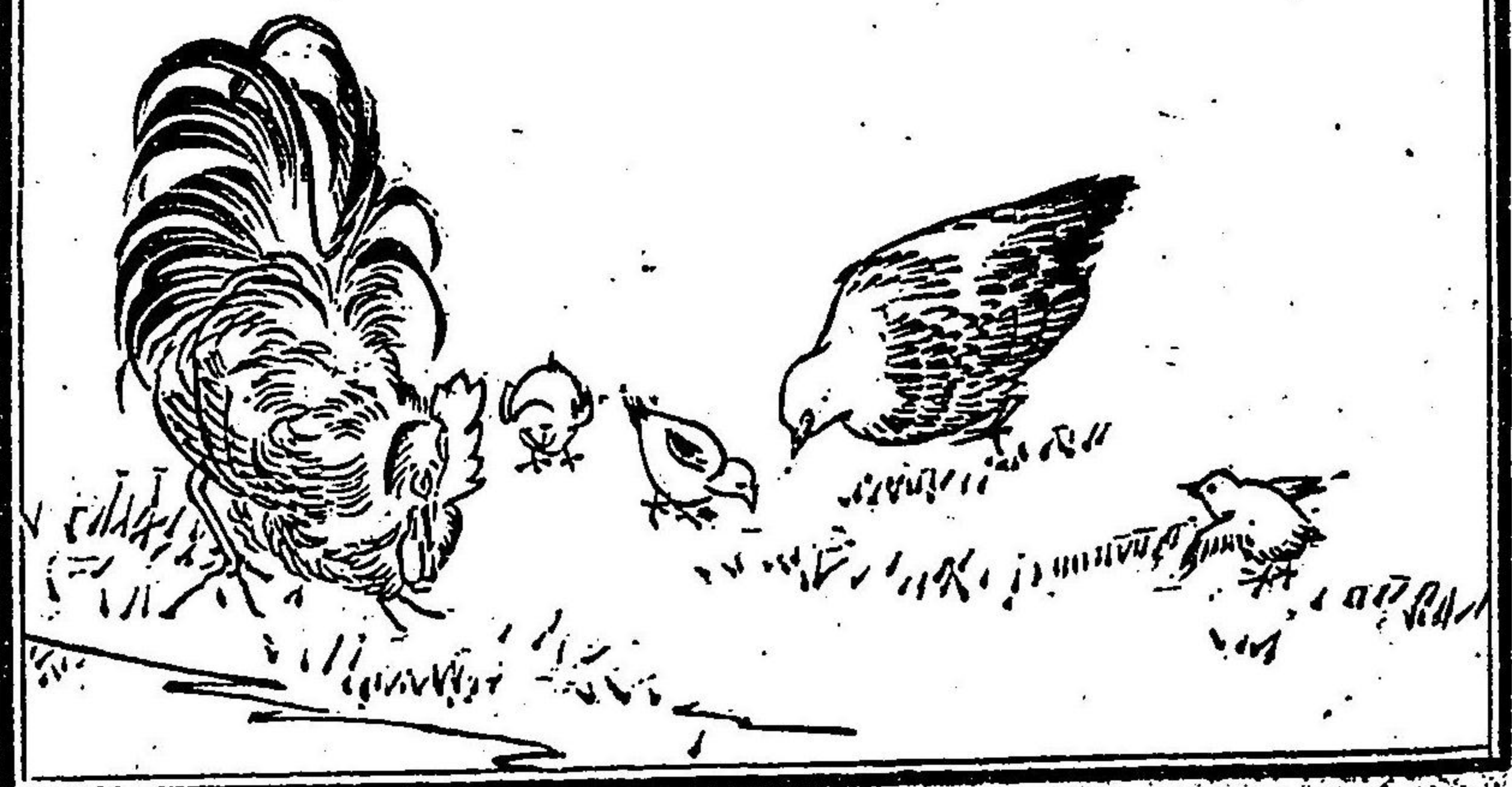


コ
ウ
を
チ
ヤ
リ
ス
ル

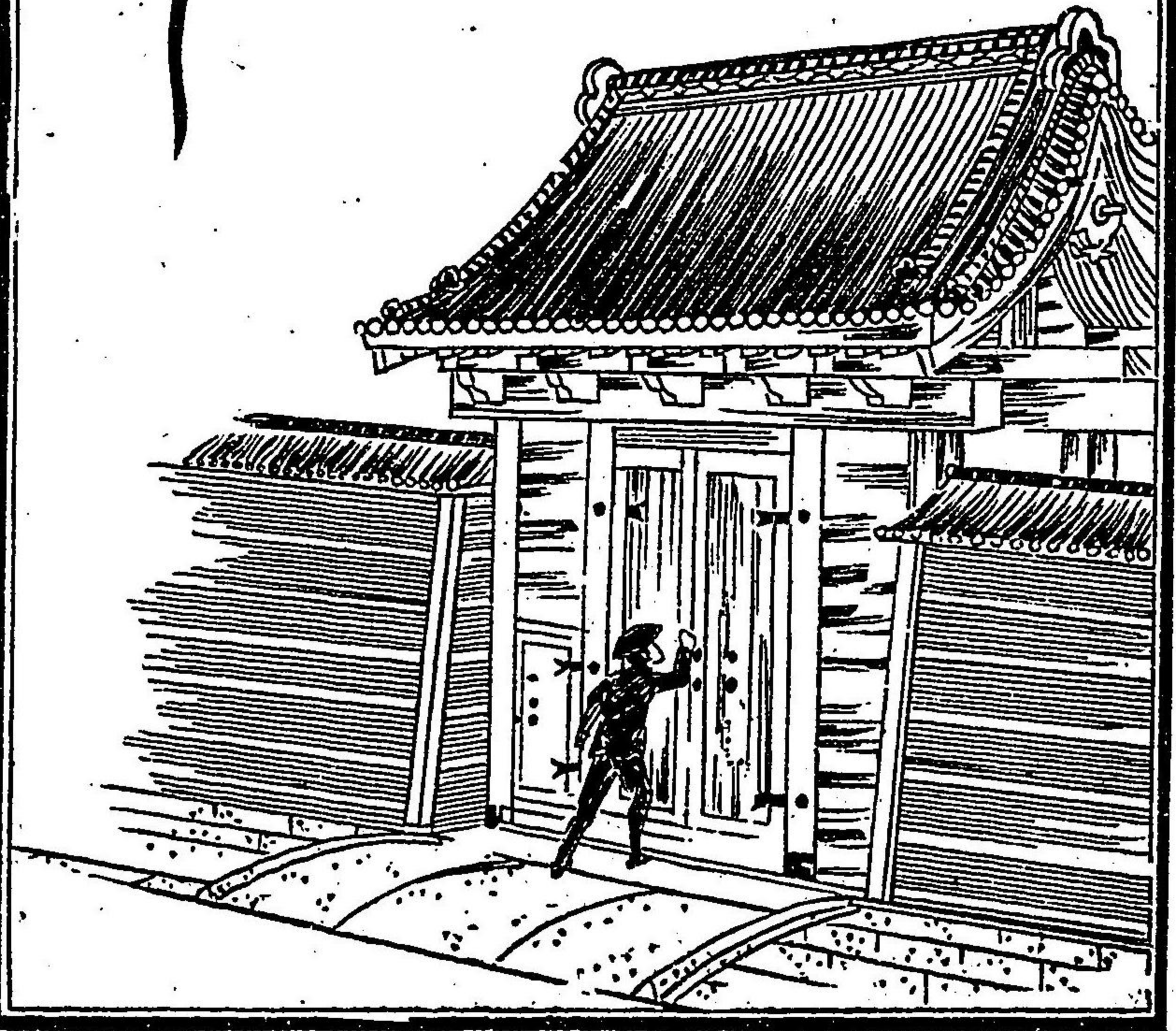
あ
あ
れ
め
よ
もの
を



おんどりの
 とまを
 めんどりの
 ひなを
 あいす



もんを
 ○○○
 さらが
 ひらめる
 魚





め
し
ら
ら
は

る

ダ

ニ
ユ

そ

トル



よ
り
ま
ろ
く
せ
よ

の、ゆりの
えなを
みよ



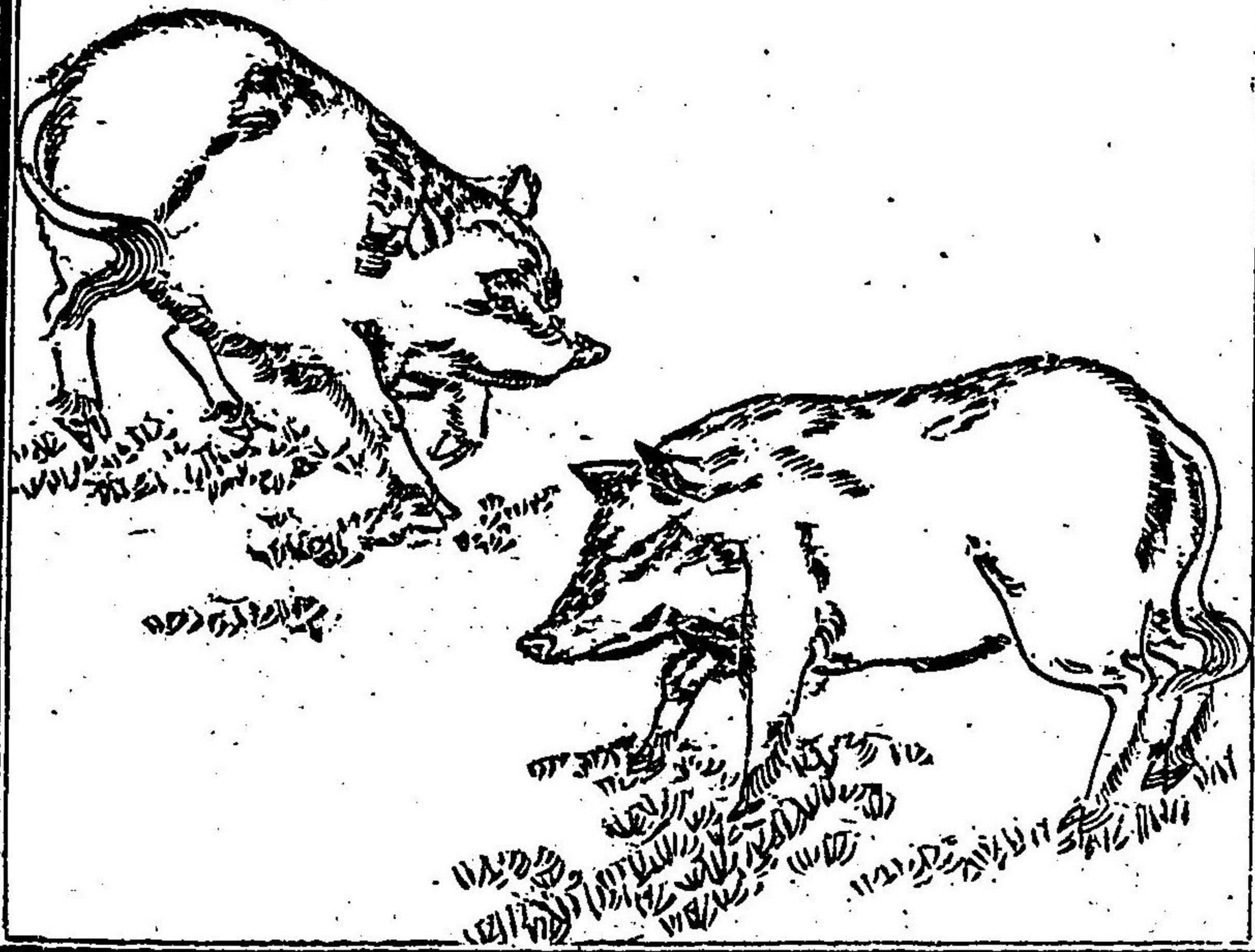
このお
なにか
いそ
まはるか



なん
どら
の
なり



あらい
きよめ
られ





な
か
れ

を



ひ
と

パ
ン

の
シ

み

す

す
み



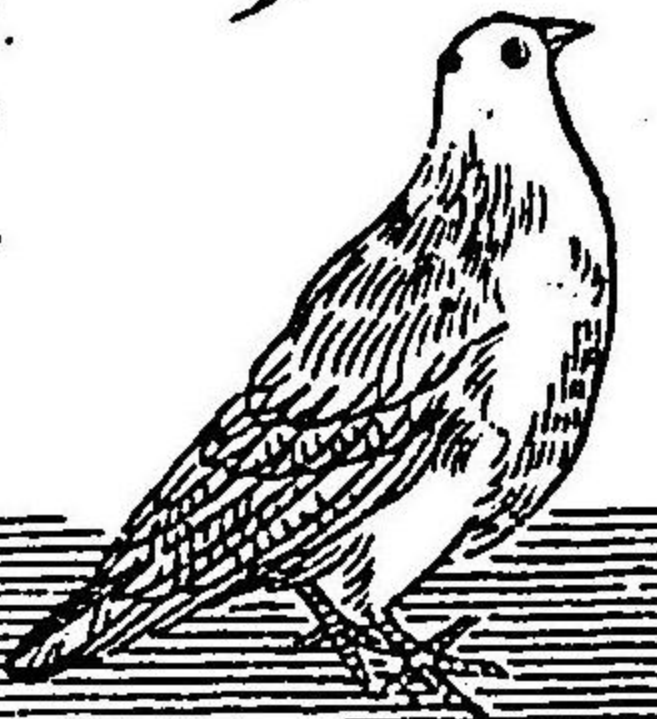
つびの

おと

えと

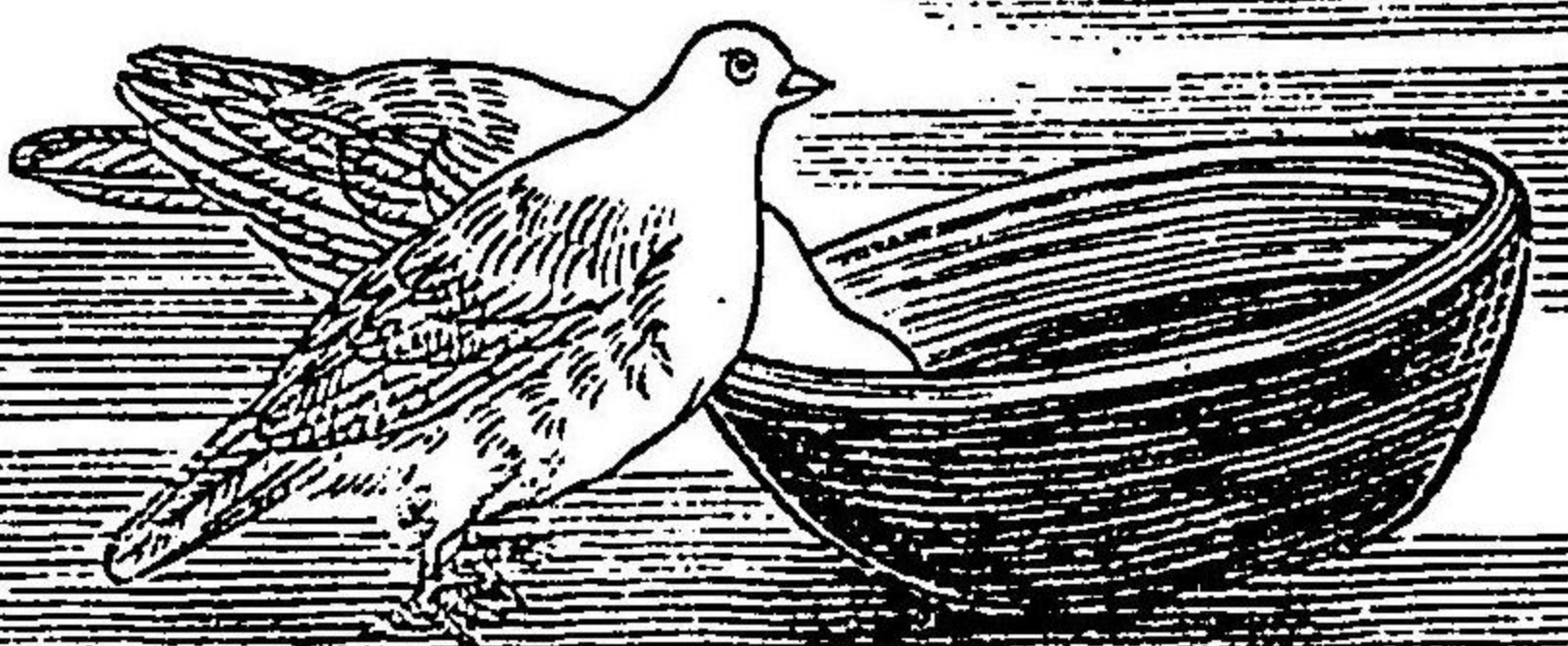
の

ごと



おと

なし

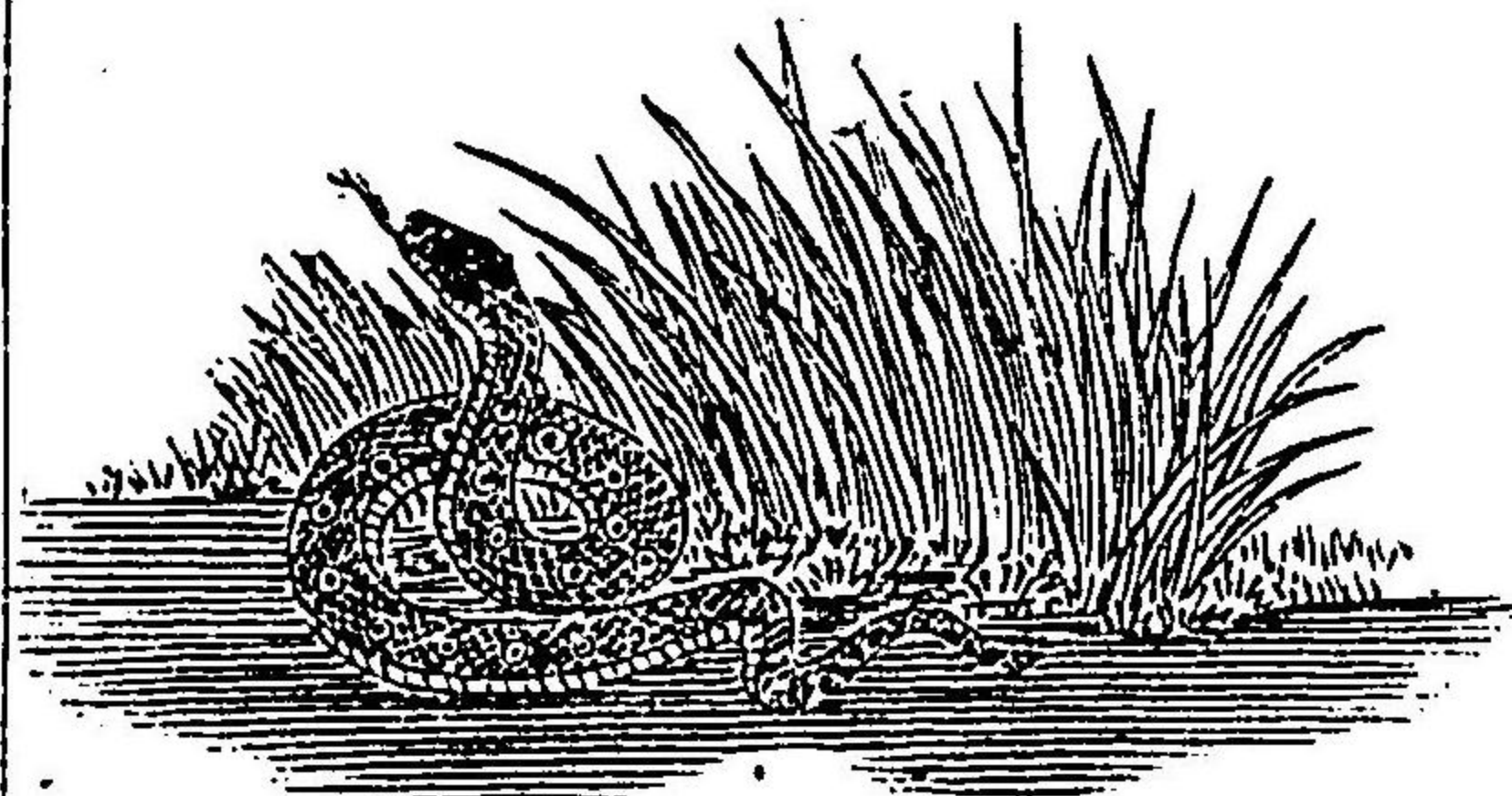


あ

き

あれ

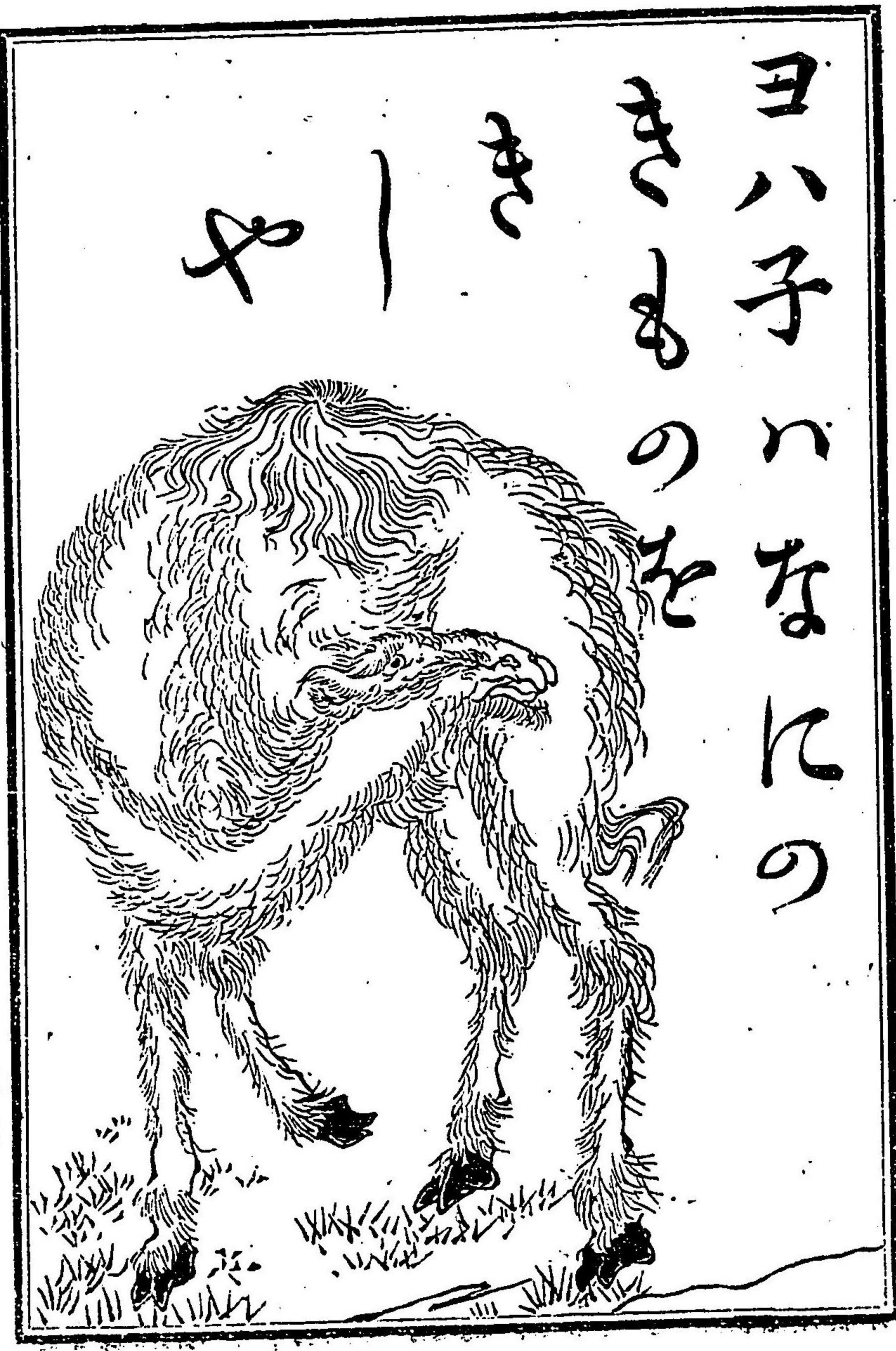
あ



と

と

く



ヨハ子ハなレの

きものを

き

し

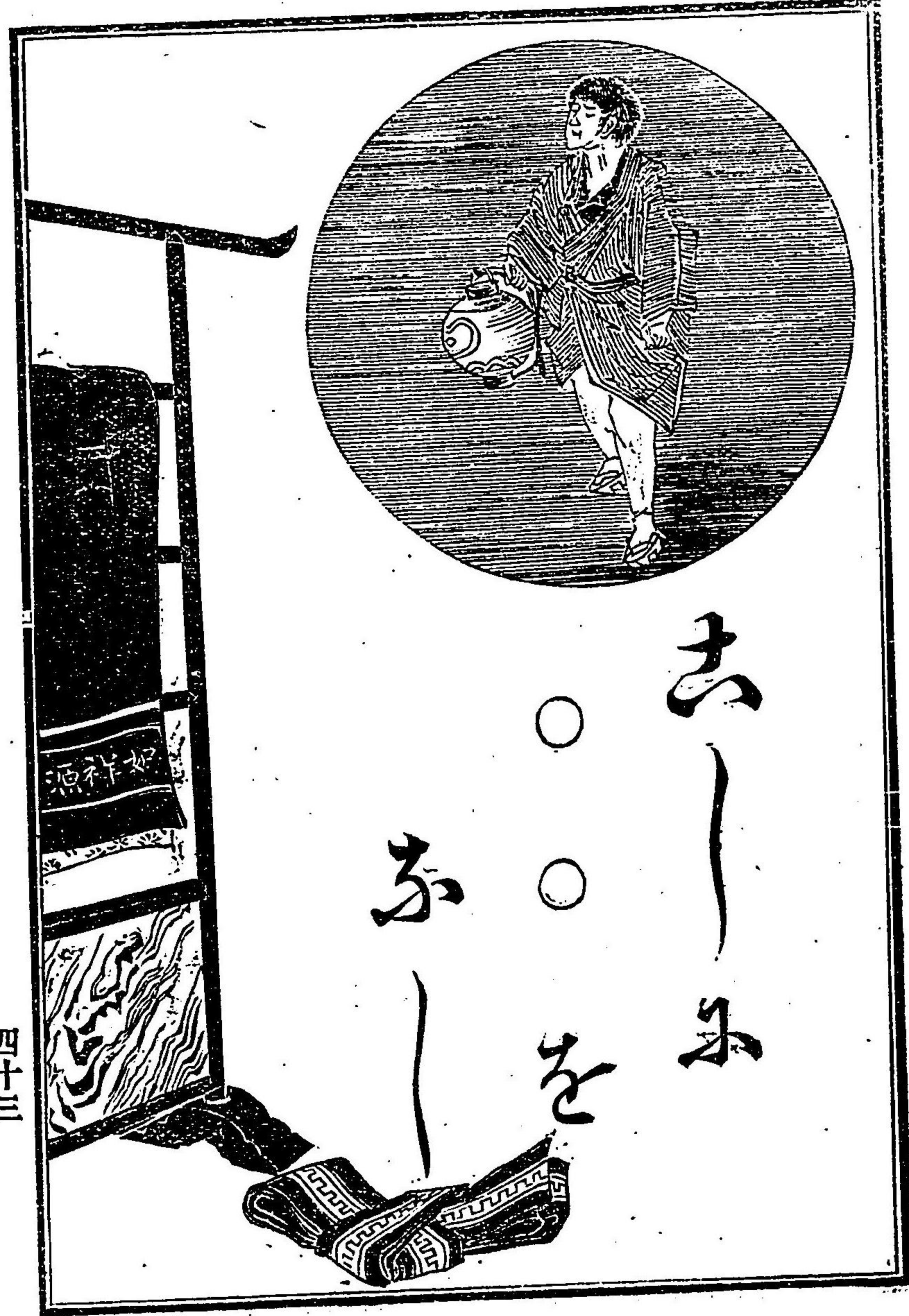
や



かの
 おんな
 ン
 レ
 プ
 タ
 ふ
 た
 つ
 を
 い
 れ
 た
 り



た
 が
 い
 ふ
 し
 せ
 っ
 せ
 ゃ
 ん
 せ
 っ
 せ
 ゃ
 ん
 せ
 ゃ
 ん



すくいの

かぶと



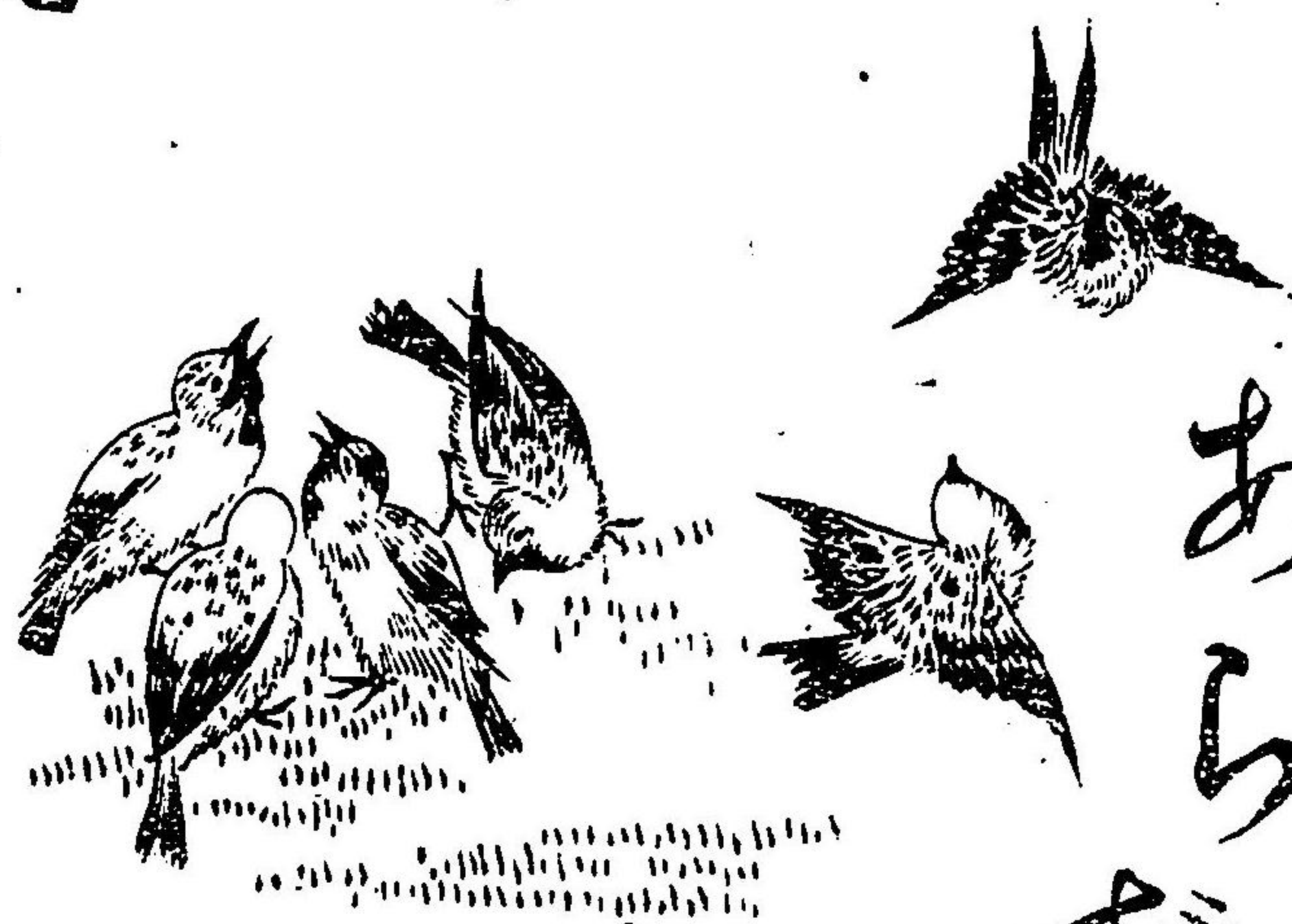
二の

すめ

は

一せんふて

うるこ



あさ

すが

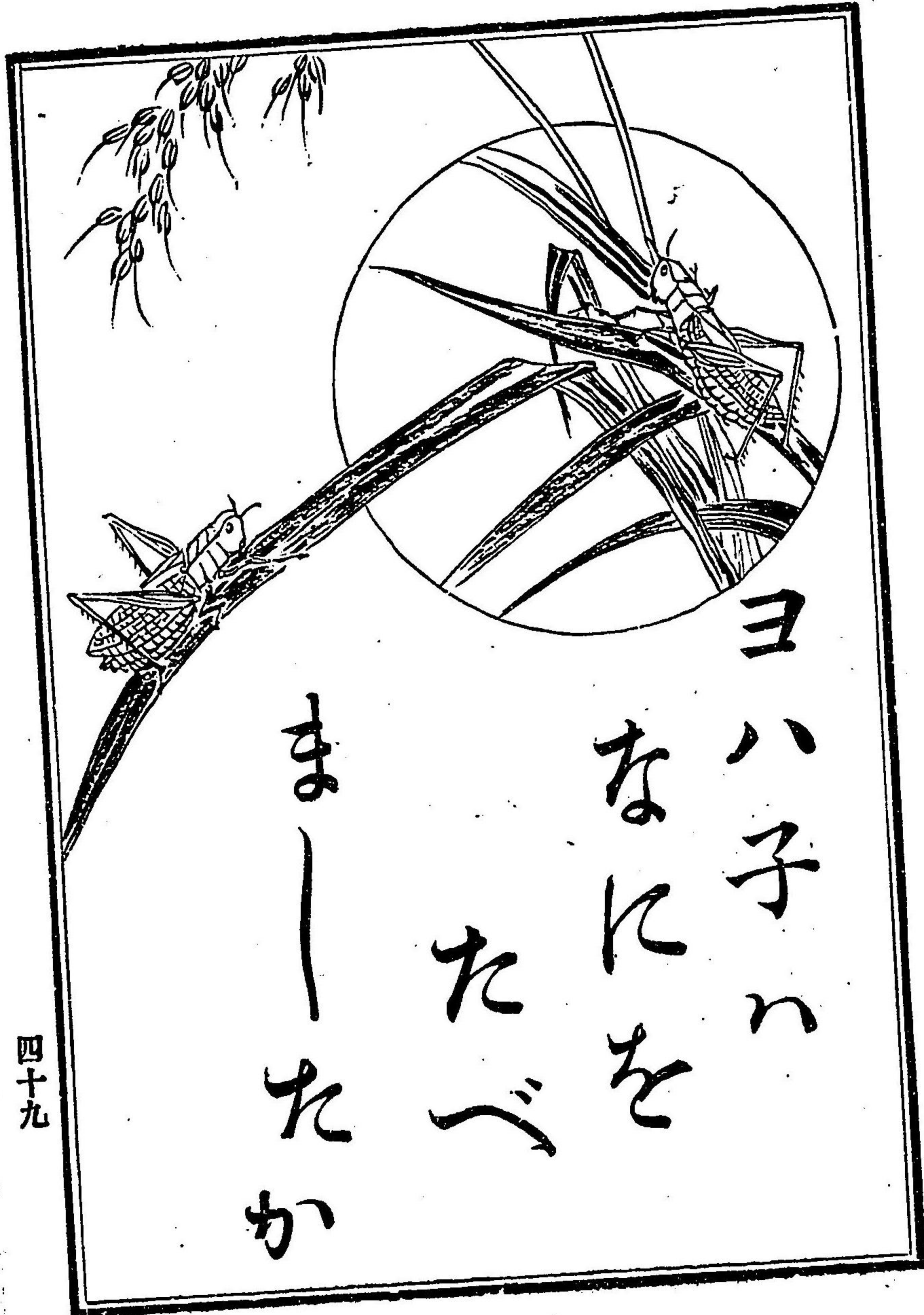
あ



その
 ころは
 はこぶね
 のりて
 たすけ
 らま
 たり

からだ
 の
 みや
 なり





ヨハ子の
なれを
たぐ
ま—たか



なんどらの
の
ひかり
を
か
か



○
 ○
 ○
 ○
 おがむ
 なかれ
 を

り ぶ

○
○
の
い
ろ
つ

なん
ら
ん



6	1
7	2
8	3
9	4
0	5

明治廿四年一月廿三日印刷
一月廿四日出版

(定價十二錢)

版權登錄

版權
所有

撰者

本間重慶

大阪市北濱五丁目
五十二番屋敷

發行兼
印刷者

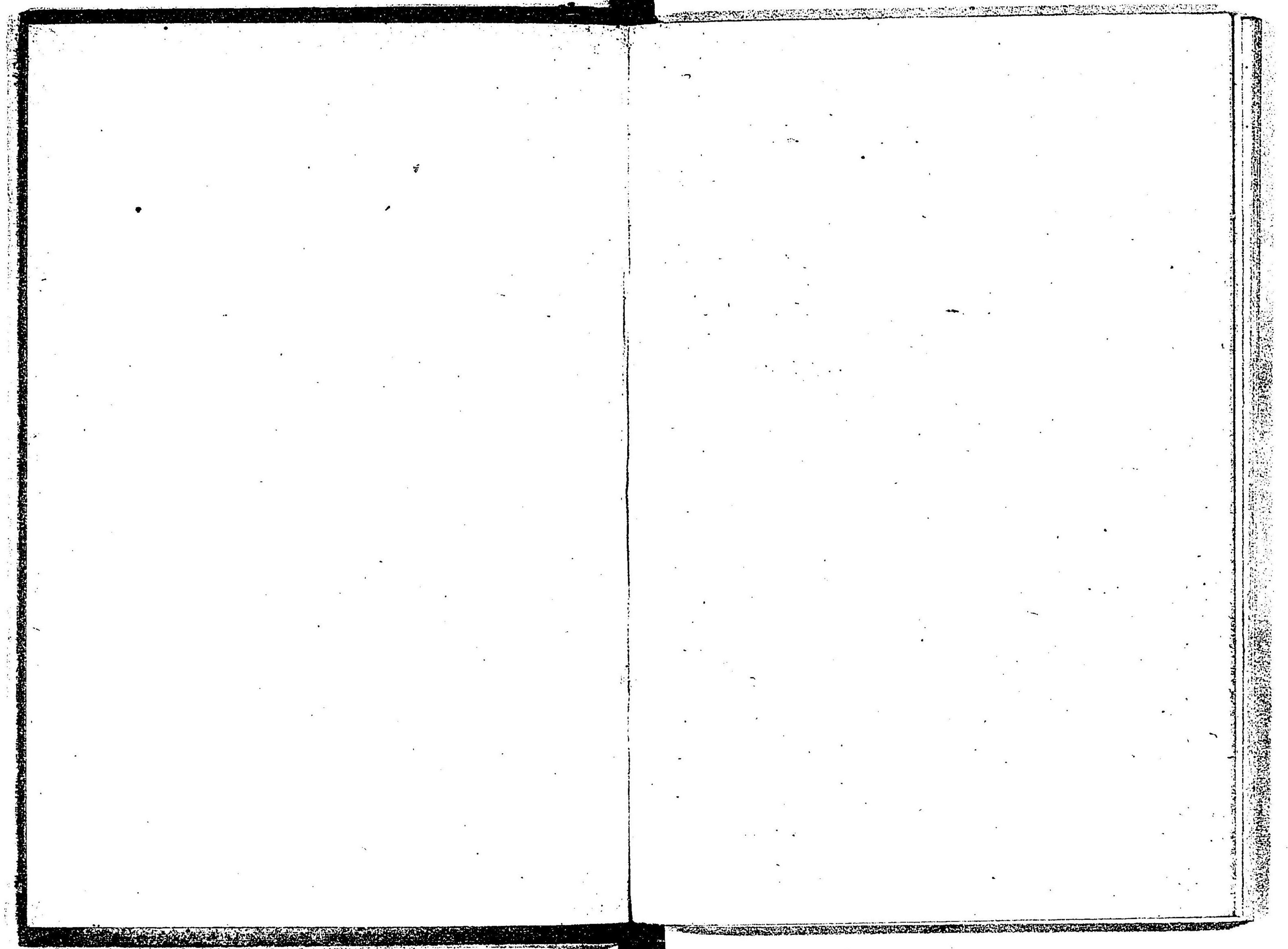
今村謙吉

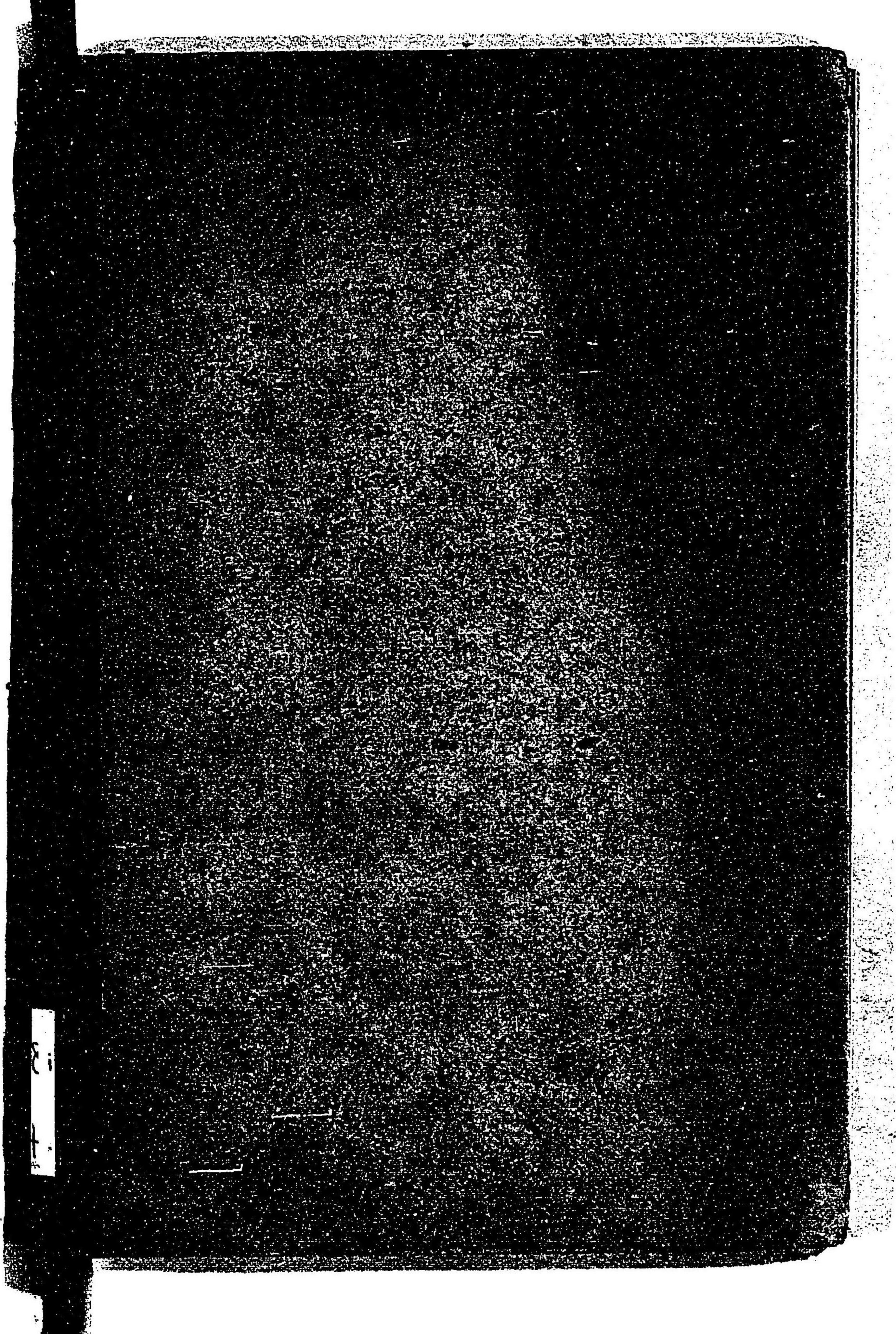
大阪市土佐堀三丁目
三十八番屋敷

印刷所

福音社

大阪市土佐堀三丁目
三十八番屋敷





21

020216-001-6

特18-714

安息学校読本 卷の1-4

本間 重慶/編

1冊

M23-24

ABI-0015



7